

2024年度 事業計画書

特定非営利活動法人サードコミュニティ

1 事業実施の方針

初年度は小学生・中学生・高校生を対象とした学習・教育支援事業を立川市と武蔵野市で行い、定期的な開催を目指す。事業内容等について積極的な広報活動も行い、法人としての組織基盤を確立するとともに、学習支援を必要とする人への周知にもつなげていきたい。

高校生や大学生に向けた進路・キャリアに関する相談や情報提供も行い、次年度以降に進路・キャリアに関するプログラムやイベントを企画運営するための準備も進めていく。

また、公共施設や市民活動団体等と連携した地域イベントへの参加や多世代交流の場を作ることで、地域活性化や居場所づくりにも積極的に取り組んでいきたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 441 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
学習・教育支援事業	小学生・中学生・高校生に向けた個別指導学習会の開催 教育に関心がある現役の大学生や塾講師の経験を持つ社会人等のボランティアスタッフが、地域の子どもや学習環境に恵まれない小中高生など参加生徒の隣に座り、学習のアドバイスや問題の解説、学習方法の指導をする。	毎週 火曜日・水曜日・木曜日・金曜日・土曜日・日曜日	立川市(子ども未来センター・たましんホール)・RISURU(武蔵野市武蔵野プレイス)	100人	小生 中 生 高 生	約500人(のべ)	426
進路・キャリア支援事業	高校生に向けた進路・キャリアについての相談受付や情報提供の実施	年1回	立川市子ども未来センター	10人	高 生	約10人	5
地域活性化や居場所づくり事業	公共施設や市民活動団体と協力した地域イベントの実施 地域イベントの中では、身近な素材を使った遊びができるブースを担当する。参加する地域の子どもに楽しんでもらうとともに、地域とのつながりを体感してもらおう手助けをする。	3月に1回	立川市子ども未来センター	20人	一 般 市 民	50人	10
	高校生・大学生に向けたグループ学習会の開催 参加者が自身の学習、進路の悩み相談、多世代交流などができる場を設ける。	毎週 日曜日	立川市(子ども未来センター・たましんホール)・RISURU(ホール)	15人	高 生 大 生	50人	

2025年度 事業計画書

特定非営利活動法人サードコミュニティ

1 事業実施の方針

2年度目は初年度同様、学習・教育支援事業を立川市と武蔵野市で定期的の実施するとともに、学習環境に恵まれない子どもをさらに受け入れていくため、開催地域や実施頻度を増やしていきたい。

進路・キャリア支援事業については、高校生に向けてプログラムやイベントを企画し、早い段階で進路・キャリアについて考える機会や悩み・問題の解決ができるような事業の企画運営を行う。

上記2つの事業では、さらに多くの課題解決に向けて、学校や行政、企業等と連携した取り組みも検討していきたい。

また、多世代交流の場や地域イベントも継続的に企画・参加していき、地域活性化や居場所づくりにも寄与していく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 1764 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
学習・教育支援事業	小学生・中学生・高校生に向けた個別指導学習会の開催 教育に関心がある現役の大学生や塾講師の経験を持つ社会人等のボランティアスタッフが、地域の子どもや学習環境に恵まれない小学生など参加生徒の隣に座り、学習のアドバイスや問題の解説、学習方法の指導をする。	毎週 火曜日・水曜日・木曜日・金曜日・土曜日・日曜日	立川市(子ども未来センター・たましんホール) RISURUホール 武蔵野市(武蔵野プレイス)	100人	小生 中学生 高校生	約2,000人(のべ)	1,704
進路・キャリア支援事業	高校生に向けた進路・キャリアについての情報提供を行うイベントの開催	年2回	立川市子ども未来センター	10人	高校生	約50人	30
地域活性化やコミュニティづくりを行う事業	公共施設や市民活動団体と協力した地域イベントの実施 地域イベントの中では、水鉄砲や輪投げ、身近な素材を使った遊びができるブースを担当する。参加者が地域の子どもに楽しんでもらうとともに、地域とのつながりを感じてもらおう手助けをする。	3月 5月 7～9月に各1回	立川市子ども未来センター	60人	一般市民	150人	30
	高校生・大学生に向けたグループ学習会の開催 参加者が自身の学習、進路の悩み相談、多世代交流などができる場を設ける。	毎週 日曜日	立川市(子ども未来センター・たましんホール) RISURUホール	60人	高校生 大学生	200人	

2024年度 活動予算書 (その他事業がない場合)

特定非営利活動法人サードコミュニティ

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
(A) 経常収益			
1	受取会費 正会員受取会費 賛助会員受取会費	150,000	150,000
2	受取寄附金 受取寄附金 施設等受入評価益	15,000	15,000
3	受取助成金等 受取補助金		0
4	事業収益 学習・教育支援事業収益 地域活性化やコミュニティ・居場所づくりを行う事業収益 進路・キャリア支援事業収益	440,000	440,000
5	その他の収益 受取利息		0
経常収益計			605,000
(B) 経常費用			
1	事業費		
	(1) 人件費 給料手当 役員報酬 退職給付費用 福利厚生費	283,500	283,500
	(2) その他経費 会議費 旅費交通費 施設等評価費用 減価償却費 印刷製本費 広告宣伝費	157,500 50,000 77,500 10,000 20,000	157,500
事業費計			441,000
2	管理費		
	(1) 人件費 役員報酬 給料手当 退職給付費用 福利厚生費	62,500	62,500
	(2) その他経費 消耗品費 水道光熱費 通信運搬費 地代家賃 旅費交通費 減価償却費	31,500 5,000 2,500 16,500 7,500	31,500
管理費計			94,000
経常費用計			535,000
当期経常増減額 (A) - (B) ...①			70,000
(C) 経常外収益			
	固定資産売却益 過年度損益修正益		0
経常外収益計			0
(D) 経常外費用			
	固定資産売却損 災害損失 過年度損益修正損		0
経常外費用計			0
当期経常外増減額 (C) - (D) ...②			0
税引前当期正味財産増減額 ①+② ...③			70,000
	法人税、住民税及び事業税 ...④		70,000
	設立時正味財産額 ...⑤		0
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤			0

2025年度 活動予算書 (その他事業がない場合)

特定非営利活動法人サードコミュニティ

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
(A) 経常収益			
1	受取会費 正会員受取会費 賛助会員受取会費	175,000	175,000
2	受取寄附金 受取寄附金 施設等受入評価益	60,000	60,000
3	受取助成金等 受取補助金	55,000	55,000
4	事業収益 学習・教育支援事業収益 地域活性化やコミュニティ・居場所づくりを行う事業収益 進路・キャリア支援事業収益	1,920,000	1,920,000
5	その他の収益 受取利息		0
経常収益計			2,210,000
(B) 経常費用			
1	事業費		
	(1) 人件費 給料手当 役員報酬 退職給付費用 福利厚生費	1,134,000	1,134,000
	(2) その他経費 会議費 旅費交通費 施設等評価費用 減価償却費 印刷製本費 広告宣伝費	200,000 310,000 40,000 80,000	630,000
事業費計			1,764,000
2	管理費		
	(1) 人件費 役員報酬 給料手当 退職給付費用 福利厚生費	250,000	250,000
	(2) その他経費 消耗品費 水道光熱費 通信運搬費 地代家賃 旅費交通費 減価償却費	20,000 10,000 66,000 30,000	126,000
管理費計			376,000
経常費用計			2,140,000
当期経常増減額【A】-【B】・・・①			70,000
(C) 経常外収益			
	固定資産売却益 過年度損益修正益		0
経常外収益計			0
(D) 経常外費用			
	固定資産売却損 災害損失 過年度損益修正損		0
経常外費用計			0
当期経常外増減額【C】-【D】・・・②			0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③			70,000
	法人税、住民税及び事業税・・・④		70,000
	前期繰越正味財産額・・・⑤		0
次期繰越正味財産額③-④+⑤			0